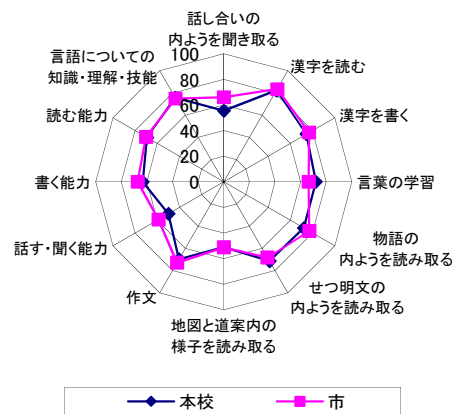


宇都宮市立宮の原小学校 第4 学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	55.4	66.1
	漢字を読む	82.4	83.5
	漢字を書く	74.5	76.9
	言葉の学習	71.8	66.2
	物語の内ようを読み取る	72.2	77.0
	せつ明文の内ようを読み取る	71.4	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	51.1	51.2
	作文	69.9	73.1
観点別	話す・聞く能力	49.8	58.9
	書く能力	63.3	67.2
	読む能力	69.2	70.2
	言語についての知識・理解・技能	75.8	75.1



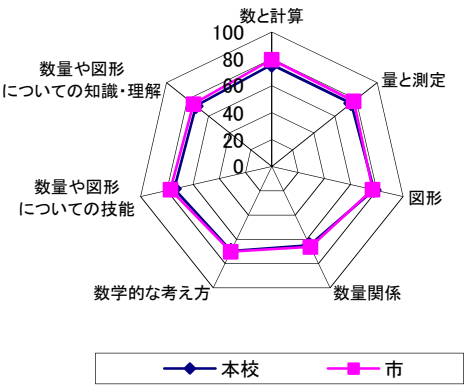
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・平均正答率は55.4%で、市の平均正答率よりも10%以上低い状況にある。内容を正しく理解して短い言葉でメモを取ることができていない。	・学習時や生活の場面において話の内容を正確に聞き取り、大切な部分を短くまとめてメモする活動を取り入れて指導していく。
漢字	・平均正答率は82.4%で、市の平均正答率よりもやや低い。漢字を読むことは比較的できているが、3年で習った漢字を忘れていたために誤答があった。	・新出漢字の練習とともに、3年で習った漢字も繰り返し行い、日常的に漢字を使用して書くように指導する。
言葉の学習	平均正答率は71.8%で、市の平均正答率よりもやや上回っている。故事成語や文の構成などを概ね理解しているといえる。	・漢字のいろいろな読み方を使った言葉や短文づくりなどを行い、一つの漢字から語彙を広げるような活動を取り入れていく。
物語の内ようを読み取る	平均正答率は72.2%で、市の平均正答率よりもやや下回っている。登場人物の気持ちは比較理解できていたが、気持ちの変化絵を読み取る問題では正答率が低かった。	・登場人物の気持ちの移り変わりや場面の様子が丁寧に読み取れるように、大切な言葉に着目させるなどして指導していく。
せつ明文の内ようを読み取る	平均正答率は71.4%で、市の平均正答率を上回っており、比較的よく理解できている。要点を読み取ることは概ねできていたが、「細かい点に注意して読み取る」問題では、正答率が低かった。	・形式段落ごとに番号を付けて段落ごとのまとまりを意識させ、段落ごとに要点を短くまとめるなどの活動を取り入れて、内容を確実に理解させていく。
地図と道案内の様子を読み取る	平均正答率は51.1%で、ほぼ市の平均正答率と同じであるが、「地図を読み取った上で適切な言葉遣いで話す」問題では正答率が低かった。	・適切な言葉遣いを意識させ、話すだけでなく文章においても活用できるように、日常的な学習場面や作文などにおいて指導していく。
作文	平均正答率は55.4%で、市の平均正答率よりも10%以上低い状況にある。	・字数や段落にも着目し、形式に合わせた作文を書く機会を設けるとともに、日記指導においても指導を継続する。

宇都宮市立宮の原小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	75.6	79.4
	量と測定	75.4	77.9
	図形	77.8	76.8
	数量関係	64.8	66.2
観点別	数学的な考え方	69.5	70.2
	数量や図形についての技能	74.4	77.1
	数量や図形についての知識・理解	72.0	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・正答率75. 6%と領域の内容をおおむね理解しているが、3年時に学習した数直線上の分数の読み取りや同じく3年時に学習した3けた×2けたの計算の正答率が低かった。	・昨年学習した内容の復習を行う際に、数直線を使って、小数や分数の数の大小の比較を取り入れていく。
量と測定	・正答率75. 4%と領域の内容をおおむね理解している。長方形の面積を求める問題では、正答率が、95. 8%とよくできていたが、複合図形では、66. 2%と低い数値である。	・複合図形の面積を求める学習をする際には、視覚的に理解しやすい教材を活用し、正しい求め方を段階的に確認しながら、指導する。
図形	・正答率77. 8%と市の正答率をやや上回っている。円や二等辺三角形の作図はよくできていた。一方、球の半径から、球が入る箱の辺の長さを求める問題では、正答率が低かった。	・球が入る箱の辺の長さを求める問題では、具体物を用いて、実際に箱を作る活動など、体験的を通して数値を考える場面を設ける。
数量関係	・正答率は、64. 8%と市の正答率をやや下まわる。二次元表を利用して問題を解くことは、市の平均より上回っているが、他の問題と比較すると低い数値である。	・クラスの児童にアンケートを取り、二次元表を作成するなど身近な数値を扱うことによって、二次元表を読み取る力を伸ばしたい。